

【表紙】

【提出書類】 四半期報告書

【根拠条文】 金融商品取引法第24条の4の7第1項

【提出先】 関東財務局長

【提出日】 平成25年11月8日

【四半期会計期間】 第91期第2四半期
(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

【会社名】 フジ日本精糖株式会社

【英訳名】 Fuji Nihon Seito Corporation

【代表者の役職氏名】 代表取締役社長 船越義和

【本店の所在の場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【最寄りの連絡場所】 東京都中央区日本橋茅場町一丁目4番9号

【電話番号】 03-3667-7811(代表)

【事務連絡者氏名】 執行役員管理本部本部長 福田弘

【縦覧に供する場所】 株式会社東京証券取引所
(東京都中央区日本橋兜町2番1号)

第一部 【企業情報】

第1 【企業の概況】

1 【主要な経営指標等の推移】

回次	第90期 第2四半期 連結累計期間	第91期 第2四半期 連結累計期間	第90期
会計期間	自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日	自 平成24年4月1日 至 平成25年3月31日
売上高 (千円)	9,992,194	10,175,273	19,760,597
経常利益 (千円)	635,181	622,529	1,143,648
四半期(当期)純利益 (千円)	405,060	378,191	716,825
四半期包括利益 又は包括利益 (千円)	365,121	527,493	1,234,393
純資産額 (千円)	13,242,700	14,566,957	14,308,686
総資産額 (千円)	18,948,484	20,244,690	20,023,717
1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)	15.11	14.07	26.71
潜在株式調整後 1株当たり四半期 (当期)純利益金額 (円)			
自己資本比率 (%)	69.0	70.0	69.3
営業活動による キャッシュ・フロー (千円)	921,881	689,510	1,317,124
投資活動による キャッシュ・フロー (千円)	295,058	532,644	523,721
財務活動による キャッシュ・フロー (千円)	56,822	32,620	121,727
現金及び現金同等物の 四半期末(期末)残高 (千円)	2,449,618	2,731,423	2,611,571

回次	第90期 第2四半期 連結会計期間	第91期 第2四半期 連結会計期間
会計期間	自 平成24年7月1日 至 平成24年9月30日	自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日
1株当たり四半期純利益金額 (円)	8.51	7.25

- (注) 1 当社は四半期連結財務諸表を作成しておりますので、提出会社の主要な経営指標等の推移については記載しておりません。
- 2 売上高には、消費税等は含まれておりません。
- 3 潜在株式調整後1株当たり四半期(当期)純利益金額については、潜在株式が存在しないため、記載しておりません。

2 【事業の内容】

当第2四半期連結累計期間において、当社グループ(当社及び当社の関係会社)において営まれている事業の内容について、重要な変更はありません。

また、主要な関係会社についても異動はありません。

第2 【事業の状況】

1 【事業等のリスク】

当第2 半期連結累計期間において、新たな事業等のリスクの発生又は前事業年度の有価証券報告書に記載した事業等のリスクについての重要な変更はありません。

2 【経営上の重要な契約等】

当第2 四半期連結会計期間において、経営上の重要な契約等の決定又は締結等はありません。

3 【財政状態、経営成績及びキャッシュ・フローの状況の分析】

(1) 業績の状況

当第2 四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新政権による経済・金融政策への期待感から、円高修正や株価上昇など景況感に改善が見られたものの、欧州の金融不安や中国経済の減速が懸念されるなど先行き不透明な状況で推移いたしました。

このような環境下、当社グループは、製品の安定供給を最重要課題として取り組みました。また、タイのイヌリン製造子会社において、本稼働に向けた工場建設に注力してまいりました。

以上の結果、当第2 四半期連結累計期間の業績は、売上高10,175百万円（前年同期比1.8%増）、営業利益561百万円（同6.4%減）、経常利益622百万円（同2.0%減）となり、特別利益として投資有価証券売却益11百万円を計上した結果、四半期純利益は378百万円（同6.6%減）となりました。

セグメントの業績は、次のとおりであります。

精糖事業

精糖事業の業績は、売上高6,687百万円（前年同期比1.5%増）、営業利益607百万円（同6.0%減）となりました。売上高は、販売価格が下落したものの、菓子類、パン類及び飲料向けでグラニュー糖や液糖を中心に大手ユーザー向けの販売が順調に推移し、販売数量が増加したことにより増収となりました。損益面では、販売価格の下落や物流費等の販売費の増加、エネルギーコストの上昇等により減益となりました。

機能性素材事業

機能性素材事業の業績は、売上高3,188百万円（前年同期比2.8%増）、営業利益43百万円（同3.9%減）となりました。売上高は、機能性食品素材「イヌリン」は低調な荷動きにより販売数量は減少したものの、連結子会社ユニテックフーズ㈱において、主力商品のゼラチンが前期に引き続き好調に推移したことに加え、新規取引先の増加や拡販効果により増収となりました。損益面では、各部門で製造コストの削減に努めたものの、現在、工場建設中の連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,Ltd.における先行費用の発生等により減益となりました。

不動産事業

不動産事業の業績は、売上高300百万円（前年同期比1.0%減）、営業利益259百万円（同1.0%減）となりました。小規模賃貸住宅の稼働率が低下したことにより減収減益となりましたが、安定収益に貢献いたしました。

(2) 財政状態の分析

当第2四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末に比べ1.1%増加し、20,244百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各財政状態の変動状況は、次のとおりであります。

資産

資産につきましては、流動資産で前連結会計年度末に比べ5.1%減少し、8,232百万円となりました。これは主に売上債権及び棚卸資産の減少等によるものであります。

また、固定資産は前連結会計年度末に比べ5.9%増加し、12,012百万円となりました。これは主に建設仮勘定の増加等によるものであります。

負債

負債につきましては、流動負債で前連結会計年度末に比べ11.0%減少し、3,307百万円となりました。これは主に仕入債務の減少等によるものであります。

また、固定負債は前連結会計年度末に比べ18.6%増加し、2,369百万円となりました。これは主に長期借入金の増加等によるものであります。

純資産

純資産につきましては、前連結会計年度末に比べ1.8%増加し、14,566百万円となりました。これは主に時価上昇によるその他有価証券評価差額金の増加及び四半期純利益計上による利益剰余金の増加等によるものであります。

(3) キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ119百万円増加し、2,731百万円となりました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

営業活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において営業活動の結果得られた資金は、689百万円（前年同期比25.2%減）となりました。これは主として、四半期純利益の計上、売上債権の減少等によるものであります。

投資活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において投資活動の結果使用した資金は、532百万円（前年同期比80.5%増）となりました。これは主として、長期貸付金の回収による収入があったものの、有形固定資産の取得による支出、長期貸付けによる支出等があったことによるものであります。

財務活動によるキャッシュ・フロー

当第2四半期連結累計期間において財務活動の結果使用した資金は、32百万円（前年同期比42.6%減）となりました。これは主として、長期借入れによる収入があったものの、配当金の支払額、長期借入金の返済による支出等があったことによるものであります。

(4) 事業上及び財務上の対処すべき課題

当第2四半期連結累計期間において、新たに発生した事業上及び財務上の対処すべき課題はありません。

(5) 研究開発活動

当第2四半期連結累計期間における研究開発費等に係る会計基準による研究開発活動の総額は、24百万円であります。

なお、当第2四半期連結累計期間において、当社の研究開発活動についての重要な変更はありません。

(6) 従業員数

当第2四半期連結累計期間において、連結会社及び提出会社の従業員数に著しい増減はありません。

(7) 生産、受注及び販売の実績

当第2四半期連結累計期間において、生産、受注及び販売実績に著しい変動はありません。

(8) 主要な設備

前連結会計年度末において計画中であった重要な設備の新設について、当第2四半期連結累計期間において、著しい変更があったものは、次のとおりであります。

連結子会社Fuji Nihon Thai Inulin Co.,LTD.のタイ国ラチャブリ県における機能性食品素材「イヌリン」の製造工場の建設については、平成24年8月着手、平成25年9月の完成を予定しておりましたが、工場建設の進捗が若干遅れているため、完成予定時期を平成25年11月に変更しております。

第3 【提出会社の状況】

1 【株式等の状況】

(1) 【株式の総数等】

【株式の総数】

種類	発行可能株式総数(株)
普通株式	110,000,000
計	110,000,000

【発行済株式】

種類	第2四半期会計期間末 現在発行数(株) (平成25年9月30日)	提出日現在発行数(株) (平成25年11月8日)	上場金融商品取引所 名又は登録認可金融 商品取引業協会名	内容
普通株式	29,748,200	29,748,200	東京証券取引所 市場第2部	単元株式数は1,000株 あります。
計	29,748,200	29,748,200		

(2) 【新株予約権等の状況】

該当事項はありません。

(3) 【行使価額修正条項付新株予約権付社債券等の行使状況等】

該当事項はありません。

(4) 【ライツプランの内容】

該当事項はありません。

(5) 【発行済株式総数、資本金等の推移】

年月日	発行済株式 総数増減数 (株)	発行済株式 総数残高 (株)	資本金増減額 (千円)	資本金残高 (千円)	資本準備金 増減額 (千円)	資本準備金 残高 (千円)
平成25年9月30日		29,748,200		1,524,460		2,366,732

(6) 【大株主の状況】

平成25年9月30日現在

氏名又は名称	住所	所有株式数 (千株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
双日株式会社	東京都千代田区内幸町2-1-1	8,153	27.40
豊田通商株式会社	愛知県名古屋市中村区名駅4-9-8	2,459	8.26
鈴与株式会社	静岡県静岡市清水区入船町11-1	1,402	4.71
和田製糖株式会社	東京都中央区日本橋浜町2-4-3	1,226	4.12
野村信託銀行株式会社(信託口)	東京都千代田区大手町2-2-2	933	3.13
株式会社静岡銀行 (常任代理人 日本マスタートラスト信託銀行株式会社)	静岡県静岡市葵区呉服町1-10 (東京都港区浜松町2-11-3)	792	2.66
株式会社榎本武平商店	東京都江東区新大橋2-5-2	558	1.87
新潟県砂糖卸荷受商業協同組合	新潟県新潟市中央区南万代町3-37	500	1.68
東京海上日動火災保険株式会社	東京都千代田区丸の内1-2-1	447	1.50
小倉運輸有限会社	神奈川県横浜市神奈川区菅田町2334-1	440	1.47
計		16,911	56.84

(注) 上記のほか、当社は自己株式 2,864千株(9.62%)を所有しております。

(7) 【議決権の状況】

【発行済株式】

平成25年9月30日現在

区分	株式数(株)	議決権の数(個)	内容
無議決権株式			
議決権制限株式(自己株式等)			
議決権制限株式(その他)			
完全議決権株式(自己株式等)	普通株式 2,864,000		
完全議決権株式(その他)	普通株式 26,442,000	26,442	
単元未満株式	普通株式 442,200		
発行済株式総数	29,748,200		
総株主の議決権		26,442	

(注) 「完全議決権株式(その他)」の欄には、証券保管振替機構名義の株式が 2,000株(議決権 2個)含まれております。

【自己株式等】

平成25年9月30日現在

所有者の氏名 又は名称	所有者の住所	自己名義 所有株式数 (株)	他人名義 所有株式数 (株)	所有株式数 の合計 (株)	発行済株式 総数に対する 所有株式数 の割合(%)
(自己保有株式) フジ日本精糖株式会社	中央区日本橋茅場町 1 - 4 - 9	2,864,000		2,864,000	9.62

2 【役員 の 状 況】

前事業年度の有価証券報告書提出日後、当四半期累計期間において役員の変動はありません。

第4 【経理の状況】

1．四半期連結財務諸表の作成方法について

当社の四半期連結財務諸表は、「四半期連結財務諸表の用語、様式及び作成方法に関する規則」(平成19年内閣府令第64号)に基づいて作成しております。

2．監査証明について

当社は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表について、有限責任監査法人トーマツによる四半期レビューを受けております。

1【四半期連結財務諸表】
 (1)【四半期連結貸借対照表】

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,291,486	2,411,331
受取手形及び売掛金	² 1,993,693	1,710,439
有価証券	322,085	322,091
商品及び製品	1,469,940	1,662,450
仕掛品	162,901	134,841
原材料及び貯蔵品	1,246,646	851,416
その他	1,191,729	1,142,925
貸倒引当金	2,911	2,824
流動資産合計	8,675,571	8,232,671
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	686,222	666,158
機械装置及び運搬具（純額）	193,074	171,407
土地	2,048,834	2,048,834
建設仮勘定	623,883	1,180,767
その他（純額）	60,463	60,580
有形固定資産合計	3,612,479	4,127,748
無形固定資産		
のれん	793,787	739,793
その他	96,618	98,603
無形固定資産合計	890,406	838,396
投資その他の資産		
投資有価証券	4,671,323	4,851,449
関係会社長期貸付金	1,962,552	1,982,752
その他	281,637	281,965
貸倒引当金	70,252	70,293
投資その他の資産合計	6,845,260	7,045,873
固定資産合計	11,348,146	12,012,019
資産合計	20,023,717	20,244,690

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,269,306	1,020,804
短期借入金	1,261,196	1,202,696
未払法人税等	207,760	252,836
賞与引当金	120,180	108,532
役員賞与引当金	9,830	4,740
その他	848,824	718,162
流動負債合計	3,717,097	3,307,771
固定負債		
長期借入金	896,803	1,183,644
退職給付引当金	260,485	214,008
役員退職慰労引当金	164,893	169,551
資産除去債務	53,967	54,248
その他	621,784	748,510
固定負債合計	1,997,933	2,369,961
負債合計	5,715,031	5,677,733
純資産の部		
株主資本		
資本金	1,524,460	1,524,460
資本剰余金	2,530,171	2,530,171
利益剰余金	9,691,308	9,800,652
自己株式	706,124	706,499
株主資本合計	13,039,815	13,148,784
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	759,331	946,795
為替換算調整勘定	80,800	67,398
その他の包括利益累計額合計	840,131	1,014,193
少数株主持分	428,739	403,978
純資産合計	14,308,686	14,566,957
負債純資産合計	20,023,717	20,244,690

(2)【四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書】

【四半期連結損益計算書】

【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	9,992,194	10,175,273
売上原価	7,746,404	7,932,862
売上総利益	2,245,790	2,242,410
販売費及び一般管理費	¹ 1,646,153	¹ 1,680,999
営業利益	599,636	561,410
営業外収益		
受取利息	24,230	24,213
受取配当金	27,621	27,366
持分法による投資利益	-	20,828
その他	10,886	5,561
営業外収益合計	62,738	77,969
営業外費用		
支払利息	14,518	10,782
持分法による投資損失	8,257	-
為替差損	1,976	3,980
その他	2,442	2,087
営業外費用合計	27,194	16,850
経常利益	635,181	622,529
特別利益		
投資有価証券売却益	-	11,540
特別利益合計	-	11,540
特別損失		
固定資産除却損	3,544	21
投資有価証券償還損	5,455	-
投資有価証券評価損	2,638	-
特別損失合計	11,637	21
税金等調整前四半期純利益	623,543	634,048
法人税、住民税及び事業税	211,003	257,395
法人税等調整額	11,875	11,490
法人税等合計	222,878	268,885
少数株主損益調整前四半期純利益	400,664	365,162
少数株主損失()	4,395	13,028
四半期純利益	405,060	378,191

【四半期連結包括利益計算書】
【第2四半期連結累計期間】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	400,664	365,162
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	36,993	187,463
繰延ヘッジ損益	1,283	-
為替換算調整勘定	931	26,070
持分法適用会社に対する持分相当額	765	936
その他の包括利益合計	35,543	162,330
四半期包括利益	365,121	527,493
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	369,097	552,253
少数株主に係る四半期包括利益	3,976	24,760

(3)【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	623,543	634,048
減価償却費	81,141	70,021
のれん償却額	53,994	53,994
賞与引当金の増減額(は減少)	4,376	11,647
役員賞与引当金の増減額(は減少)	5,680	5,090
貸倒引当金の増減額(は減少)	344	46
退職給付引当金の増減額(は減少)	45,048	46,477
役員退職慰労引当金の増減額(は減少)	4,148	4,658
受取利息及び受取配当金	51,852	51,580
支払利息	14,518	10,782
持分法による投資損益(は益)	8,257	20,828
投資有価証券売却損益(は益)	-	11,540
投資有価証券評価損益(は益)	2,638	-
投資有価証券償還損益(は益)	5,455	-
固定資産除却損	3,544	21
売上債権の増減額(は増加)	127,565	283,254
たな卸資産の増減額(は増加)	163,635	230,780
その他の流動資産の増減額(は増加)	4,413	70,653
仕入債務の増減額(は減少)	149,468	248,502
その他の流動負債の増減額(は減少)	117,640	132,327
その他	18,887	2,067
小計	973,228	832,242
利息及び配当金の受取額	66,435	78,935
利息の支払額	14,727	11,554
法人税等の支払額	103,055	210,113
営業活動によるキャッシュ・フロー	921,881	689,510
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	300,000	-
有形固定資産の取得による支出	348,622	613,478
無形固定資産の取得による支出	36,847	6,410
投資有価証券の取得による支出	115,119	648
投資有価証券の売却及び償還による収入	32,544	133,000
長期貸付金の回収による収入	428,027	469,327
長期貸付けによる支出	546,852	511,676
子会社株式の取得による支出	-	3,155
その他	8,187	398
投資活動によるキャッシュ・フロー	295,058	532,644
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額(は減少)	170,226	10,000
長期借入れによる収入	-	366,450
長期借入金の返済による支出	170,511	119,848
自己株式の取得による支出	442	374
自己株式の売却による収入	41,615	-
配当金の支払額	267,426	268,847
少数株主からの払込みによる収入	169,715	-
財務活動によるキャッシュ・フロー	56,822	32,620
現金及び現金同等物に係る換算差額	1,515	4,393

現金及び現金同等物の増減額（は減少）	571,515	119,852
現金及び現金同等物の期首残高	1,878,102	2,611,571
現金及び現金同等物の四半期末残高	¹ 2,449,618	¹ 2,731,423

【注記事項】

(継続企業の前提に関する事項)

当第2四半期連結会計期間(自 平成25年7月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(連結の範囲又は持分法適用の範囲の変更)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(会計方針の変更等)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結財務諸表の作成にあたり適用した特有の会計処理)

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

該当事項はありません。

(四半期連結貸借対照表関係)

1 偶発債務

次の関係会社について、金融機関からの借入れに対し債務保証を行っております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
太平洋製糖(株)	530,666千円	453,333千円
南栄糖業(株)	115,956千円	115,956千円

2 四半期連結会計期間末日満期手形

四半期連結会計期間末日満期手形の会計処理については、手形交換日をもって決済処理しております。なお、前連結会計年度末日が金融機関の休日であったため、次の連結会計年度末日満期手形が、連結会計年度末残高に含まれております。

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
受取手形	15,223千円	

(四半期連結損益計算書関係)

1 販売費及び一般管理費のうち主要な費目及び金額は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
販売奨励金	206,295千円	232,137千円
販売手数料	76,540千円	72,806千円
貸倒引当金繰入額	232千円	179千円
運賃	303,509千円	314,163千円
役員報酬	77,625千円	84,762千円
執行役員報酬	60,802千円	77,760千円
給料手当	283,741千円	269,815千円
減価償却費	36,076千円	31,741千円
賞与引当金繰入額	90,530千円	84,799千円
役員賞与引当金繰入額	4,930千円	4,740千円
退職給付費用	18,086千円	17,894千円
役員退職慰労引当金繰入額	12,598千円	13,010千円
租税公課	19,059千円	18,764千円
のれん償却額	53,994千円	53,994千円

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

1 現金及び現金同等物の四半期末残高と四半期連結貸借対照表に掲記されている科目の金額との関係は、次のとおりであります。

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
現金及び預金	2,129,540千円	2,411,331千円
有価証券勘定	322,077千円	322,091千円
計	2,451,618千円	2,733,423千円
預入期間が3か月を超える定期預金	2,000千円	2,000千円
現金及び現金同等物	2,449,618千円	2,731,423千円

(株主資本等関係)

前第2四半期連結累計期間(自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成24年5月18日 取締役会	普通株式	267,426	10.00	平成24年3月31日	平成24年6月1日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

当第2四半期連結累計期間(自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)

1. 配当金支払額

決議	株式の種類	配当金の総額 (千円)	1株当たり 配当額(円)	基準日	効力発生日	配当の原資
平成25年5月17日 取締役会	普通株式	268,847	10.00	平成25年3月31日	平成25年6月5日	利益剰余金

2. 基準日が当第2四半期連結累計期間に属する配当のうち、配当の効力発生日が当第2四半期連結会計期間の末日後となるもの
 該当事項はありません。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

前第2四半期連結累計期間(自 平成 24年 4月 1日 至 平成24年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,587,826	3,101,249	303,118	9,992,194		9,992,194
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,657	954	555	8,166	8,166	
計	6,594,484	3,102,203	303,673	10,000,361	8,166	9,992,194
セグメント利益	645,681	45,689	262,139	953,510	353,873	599,636

(注) 1 セグメント利益の調整額353,873千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

当第2四半期連結累計期間(自 平成 25年 4月 1日 至 平成25年 9月30日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				調整額 (注1)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注2)
	精糖事業	機能性素材 事業	不動産事業	計		
売上高						
外部顧客への売上高	6,687,177	3,188,004	300,091	10,175,273		10,175,273
セグメント間の内部売上高 又は振替高	6,582	7,146	555	14,284	14,284	
計	6,693,760	3,195,150	300,646	10,189,557	14,284	10,175,273
セグメント利益	607,126	43,898	259,553	910,579	349,168	561,410

(注) 1 セグメント利益の調整額349,168千円は、報告セグメントに帰属しない親会社の管理部門及び研究開発室に係る一般管理費であります。

2 セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

(金融商品関係)

金融商品の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(有価証券関係)

有価証券の四半期連結貸借対照表計上額その他の金額は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(デリバティブ取引関係)

デリバティブ取引の四半期連結会計期間末の契約額等は、前連結会計年度の末日と比較して著しい変動がありません。

(企業結合等関係)

該当事項はありません。

(1株当たり情報)

1株当たり四半期純利益金額及び算定上の基礎は、次のとおりであります。

項目	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
1株当たり四半期純利益金額	15.11円	14.07円
(算定上の基礎)		
四半期純利益(千円)	405,060	378,191
普通株主に帰属しない金額(千円)		
普通株式に係る四半期純利益(千円)	405,060	378,191
普通株式の期中平均株式数(千株)	26,804	26,884

(注)潜在株式調整後1株当たり四半期純利益金額については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。

2 【その他】

該当事項はありません。

第二部 【提出会社の保証会社等の情報】

該当事項はありません。

独立監査人の四半期レビュー報告書

平成25年11月6日

フジ日本精糖株式会社
取締役会 御中

有限責任監査法人トーマツ

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 羽 鳥 良 彰

指定有限責任社員
業務執行社員 公認会計士 山 澄 直 史

当監査法人は、金融商品取引法第193条の2第1項の規定に基づき、「経理の状況」に掲げられているフジ日本精糖株式会社の平成25年4月1日から平成26年3月31日までの連結会計年度の第2四半期連結会計期間(平成25年7月1日から平成25年9月30日まで)及び第2四半期連結累計期間(平成25年4月1日から平成25年9月30日まで)に係る四半期連結財務諸表、すなわち、四半期連結貸借対照表、四半期連結損益計算書、四半期連結包括利益計算書、四半期連結キャッシュ・フロー計算書及び注記について四半期レビューを行った。

四半期連結財務諸表に対する経営者の責任

経営者の責任は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して四半期連結財務諸表を作成し適正に表示することにある。これには、不正又は誤謬による重要な虚偽表示のない四半期連結財務諸表を作成し適正に表示するために経営者が必要と判断した内部統制を整備及び運用することが含まれる。

監査人の責任

当監査法人の責任は、当監査法人が実施した四半期レビューに基づいて、独立の立場から四半期連結財務諸表に対する結論を表明することにある。当監査法人は、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期レビューの基準に準拠して四半期レビューを行った。

四半期レビューにおいては、主として経営者、財務及び会計に関する事項に責任を有する者等に対して実施される質問、分析的手続その他の四半期レビュー手続が実施される。四半期レビュー手続は、我が国において一般に公正妥当と認められる監査の基準に準拠して実施される年度の財務諸表の監査に比べて限定された手続である。

当監査法人は、結論の表明の基礎となる証拠を入手したと判断している。

監査人の結論

当監査法人が実施した四半期レビューにおいて、上記の四半期連結財務諸表が、我が国において一般に公正妥当と認められる四半期連結財務諸表の作成基準に準拠して、フジ日本精糖株式会社及び連結子会社の平成25年9月30日現在の財政状態並びに同日をもって終了する第2四半期連結累計期間の経営成績及びキャッシュ・フローの状況を適正に表示していないと信じさせる事項がすべての重要な点において認められなかった。

利害関係

会社と当監査法人又は業務執行社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

- (注) 1 上記は、四半期レビュー報告書の原本に記載された事項を電子化したものであり、その原本は当社(四半期報告書提出会社)が別途保管しております。
- 2 四半期連結財務諸表の範囲にはXBRLデータ自体は含まれていません。